まちの話題 TOPICS

岩手大学総合教育研究棟竣工記念式典

7月1日［岩手大学釜石キャンパス（大字平田）］

岩手大学は、三陸沿岸の主要産業である水産業の復興と持続的な発展に資する高度専門人材を育成することを目的に、釜石キャンパス内に総合教育研究棟（水産系）を整備しました。この研究棟を大学・漁協・企業などの共同研究や調査に活用することで、沿岸地域の水産業の活性化が期待されます。

現在は、水産コースの1期生14人（4年生）がこのキャンパスで学んでおり、秋には新たに3年生の十数人が加わる見込みです。

記念式典には学生を含め約100人が出席しました

釜石・遠野地域成年後見センター開所式

7月1日［市保健福祉センター］

釜石市、遠野市、大槌町の3市町が基本協定を締結し、釜石・遠野地域成年後見センターを設立しました。認知症や障がいなどで判断能力が不十分な人でも、住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度の運用を目指します。同センターは保健福祉センター2階に設けられ、認知症になったときのお金の管理の心配や、障がいのある子どもの財産管理などについて、土・日曜日、祝日、年末年始を除き、窓口の他、電話（☎27-9910）でも相談を受け付けます。

成年後見センター長の石田正子さん（写真右）と専門員の吉田夏海さん（写真左）

東日本大震災復旧・復興支援活動フォーラム

7月5日［釜石市民ホールTETTO］

東日本大震災の復旧、復興支援活動を行い、調査で確認された200自治体、144教育機関、685企業の計1,029団体を代表して、大阪市、聖学院大学、㈱ディック・ブルーナ・ジャパンなど8団体に感謝状が手渡されました。元復興大臣政務官の小泉進次郎さんは「人口が減るのは釜石だけじゃない。日本全体だ。」と題して講演。人口減少を当たり前のことと考え、多様な価値観を大切にして挑戦していくことが大事だと述べました。

釜石東中生と一緒に「いつかこの海をこえて」などを歌う音楽ユニットのアクアマリン

小泉さんらによるパネルディスカッションでは、釜石の復興と地方創生について話し合いました

根浜海岸海開き

7月20日［根浜海岸］

東日本大震災により砂浜が消失した根浜海岸で、震災後初となる海開きが行われました。県が行う砂浜再生事業の工事が完了した一部区間150mを海水浴場として開放。安全祈願祭の後、志土富翼（しとみ）さん（釜石小6年）と櫻庭瑠衣さん（小佐野小6年）が海あそび宣言をし、レスキューボート体験乗船やスノーケリングなどのイベントが実施されました。訪れた人々は、砂浜の感触を確かめながら、思い思いに釜石の夏を楽しみました。

多くの親子連れなどでにぎわいました

四次元の賢治－完結編

7月13日［釜石市民ホールTETTO］

賢治役の満島真之介さん（写真中央右）と賢治の妹トシ役のSalyuさん（写真中央左）

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」「やまなし」などの作品を基に、思想家の中沢新一さんが書き下ろした脚本に、音楽プロデューサーの小林武史さんがオペラにした舞台を上演。神秘的な雰囲気の舞台と幻想的な音楽に合わせて流れてくる賢治の言葉に、約800人の観客が魅了されました。

県内33市町村の郷土芸能34団体が一堂に会するいわて絆まつりは宮古市内で開催。釜石の尾崎町虎舞や北上市の鬼剣舞などが披露され、沿道から大きな拍手が上がりました。

いわて絆まつりin宮古

7月13日～14日［宮古市］

14日のオープニングを飾った仙台市のすずめ踊り

ワールドカップ写真スポット除幕式

7月23日［うのすまい・トモス］

ラグビーワールドカップ2019™釜石開催に向け、市民や釜石への来訪者の写真撮影スポットとして、大漁旗をイメージした楕円形のオブジェが、うのすまい・トモスの一角に設置されました。除幕式では鵜住居幼稚園の園児たちが元気に虎舞を披露し、イベントに花を添えてくれました。

タイミングが合えば三陸鉄道リアス線も一緒に撮影できます

釜石ラグビータウンミーティング

7月20日［チームスマイル・釜石PIT他］

ラグビー界の英雄リッチー・マコウさんが2年ぶりに釜石を訪れました。タウンミーティングの他、釜石鵜住居復興スタジアムでは清掃ボランティアにサプライズゲストとして登場し、一緒に汗を流しました。釜石シーウェイブスジュニアの子どもたちとも触れ合い、久々の釜石滞在を楽しみました。

久々の再会に参加した皆さんが笑顔になりました

箱崎白浜民泊施設オープニングセレモニー

7月25日［箱崎白浜］

旧箱崎白浜へき地保育所が民泊施設「御箱崎の宿」として生まれ変わりました。インターネット上のクラウドファンディングや企業からの寄付を受けて備品などを整備しオープンが実現。木造平屋建てで最大8人が宿泊できます。㈱かまいしDMCが指定管理し、漁業体験や料理のおもてなしは地域住民が主となって担います。箱崎白浜町内会長の佐々木孝郎さんは「漁村ならではの体験と食事を楽しんでほしい。町内の活性化につなげたい」と期待を膨らませました。

風船飛ばしで「御箱崎の宿」のオープンを祝う皆さん

汐立雨水ポンプ場完成見学会

7月28日［汐立雨水ポンプ場（只越町）］

大ポンプ駆動用エンジンを目の前に、職員の説明を真剣に聞く参加者

汐立雨水ポンプ場の完成により市街地の浸水被害の防止が期待されます

市は東部地区の雨水による冠水対策として汐立雨水ポンプ場を建設し、その完成見学会を開催しました。見学会には多くの住民が参加し、間近で見る設備の大きさに驚いていました。

施設の中には大小それぞれ2基のポンプが設置され、合計で1分間に700㎥（25mプール2杯分）を排水することが可能になりました。

第25回釜石はまゆりトライアスロン国際大会

7月28日［根浜海岸他］

今回はラグビーワールドカップ開催などのため日程を前倒しで開催。約100人がスイム1.5㎞、バイク23㎞、ラン10㎞など過酷な鉄人レースに挑みました。選手らは砂浜の再生工事が進む根浜海岸沿いや釜石鵜住居復興スタジアム前などをバイクで周回し、30度を超える暑さに耐えフィニッシュゲートをくぐりました。

照りつける太陽の下、沿道の声援を受け懸命にペダルをこぐ選手ら

北京五輪5位入賞の井出樹里さんは最後までエールを送り続けました

夏休み特別企画「鉱山（やま）の宝探し」

7月29日［旧釜石鉱山事務所］

不思議な岩石を発見するたびに、山澤さんの元へ行き確認する参加者

釜石鉱山について学び、実際に岩石を採集し標本を作製する夏休み特別企画が開催されました。釜石鉱山㈱社長の山澤茂行さんを講師に、釜石鉱山の歴史と概要の説明を受け、展示室で岩石について学んだ後は実際に岩石を探しに屋外へ。岩石探しでは、参加者らはさまざまな形や色の岩石を手に取り、山澤さんから石灰石や鉄鉱石などの説明を受けました。後半は、採集した岩石を手に標本作りに挑戦。参加者は、思い思いの標本を作製しました。